

朝日池

(あさひいけ)



全景



大地引網漁

ため池の概要

ため池の所在地
新潟県上越市

ため池の特徴

朝日池は、1646年、高田藩の中谷内新田開発に伴い造成された農業用ため池で、現在も水田276haを潤しています。

湖面の蓮の花は美しく、また早朝湖面に映る「逆さ米山」は一幅の水墨画のようです。

外来魚駆除と地域コミュニティ活動を目的に、平成18年、50年ぶりに復活させた「大地引網漁」は大勢が参加する交流の場となり、年々リピーターも増えています。

また、この地域では、五穀豊穣を祈る伝統芸能「八社五社(やしゃごしゃ)」「米大舟(べいだいしう)」も脈々と受け継がれています。

11月頃からは渡り鳥の季節となり、数千のマガモ・コガモ・ハクガン・ヒシクイ・ハクチョウ・カルガモ・オシドリなどが羽を休める姿は圧巻です。

また池には湧水があって厳冬期でも湖面は凍らず、渡り鳥の姿を間近に見ることができることから、多くのカメラマンが訪れます。

関連情報